

美浜町まちづくり次世代ワークショップ

報 告 書

平成 24 年 3 月

美 浜 町

日本福祉大学福祉社会開発研究所
まちづくり研究センター

はしがき

美浜町では、第5次美浜町総合計画の策定にあたり、地域にかかわる様々な立場の住民が中心となって、地域の資源や課題を発見し、再評価しながら、住民一人ひとりが「これからも住み続けたい」と実感できるまちづくりの方向性を議論するために、まちづくりワークショップとまちづくりミニフォーラムを開催した。具体的には、美浜町内の6地区を対象とした『地区別まちづくりワークショップ』、美浜町の将来を担う中学生を対象とした『まちづくり次世代ワークショップ』、美浜町内で活動する生産・経済団体と住民団体を対象とした『まちづくりミニフォーラム』である。

まちづくり次世代ワークショップでは、これからの美浜町を担う若い世代の意見、価値観、考えを知る機会として、美浜町内の若者を代表して河和中学校から10名、野間中学校から10名の中学生が参加した。大きなテーマは、『美浜をPRする冊子づくり』とし、どのようなところが美浜町の魅力としてPRできるかを見つめ直し、議論しながら、冊子づくりに取り組んだ。

美浜町まちづくり次世代ワークショップ

日 時 平成 23 年 11 月 19 日 (土) 13 : 30 ~ 16 : 00

会 場 日本福祉大学美浜キャンパス 第 5 会議室

参 加 者 河和中学校、野間中学校の 2 年生 計 20 名

メインファシリテータ : 新海洋子氏

(環境省中部環境パートナーシップオフィス・チーフプロデューサー)

ファシリテータ : 日本福祉大学国際福祉開発学部の 4 年生 6 名

まちづくり次世代ワークショップの開催趣旨

まちづくり次世代ワークショップは、美浜町の将来を担う若い世代を代表して、河和、野間両中学校に通う 20 名の中学生にワークショップを通じて美浜町の良さを考えてもらう機会とする。また、中学生の目線で感じた美浜町の良さや素敵な所を確認し、第 5 次美浜町総合計画策定の参考とする。

プログラム

13 : 30 開始 (30 分程度)

- ◆ 開催の挨拶
- ◆ 本日のおおまかな流れと取り組む内容の説明
- ◆ アイスブレイク「美浜自慢と自己紹介」

14 : 00 ワークショップのテーマ選択 (20 分程度)

- ◆ 大テーマ : 『美浜を PR する冊子づくり』
- ◆ グループテーマ
 1. 海外の人に向けて
 2. 日本全国の小・中学生に向けて
 3. 美浜に住もうか迷っている人に向けて
 4. 美浜を大好きになってもらうために
 5. 日本福祉大学の新生に向けて

14 : 20 ワークショップ作業 (80 分程度)

- ◆ 各グループでのアイデア出し作業 (ラベルワーク)
- ◆ 取りまとめの作業 (模造紙へのラベル張り と 模造紙への書き込み作業)

15 : 40 報告会と講評 (20 分程度)

- ◆ 5 グループによる報告会
- ◆ メインファシリテータによる講評

16 : 00 終了

趣旨説明と取り組む作業の説明



日本福祉大学まちづくり研究センター長・国際福祉開発学部の千頭聡教授から、次世代ワークショップ開催の趣旨を説明した。



メインファシリテータの新海洋子氏から、ワークショップの流れや作業内容を説明した。続いて、参加者の緊張をやわらげながらグループ分けのアイスブレイクを行った。参加者は、美浜町の自慢できることを色画用紙に書き、お互いに自己紹介を行った。

ワークショップの作業風景



今まで面識がなかった中学生同士であるが、アイスブレイクの後には緊張も打ち解け、活発な話し合いを行った。ラベルを使い、模造紙に書き込みながら、話し合った内容を整理した。話し合いを活発に進めるため、模造紙を壁に貼り、アイデアを整理するグループもあった。

報告会の風景



テーマ「海外の人に向けて」

「Very Enjoy 美浜」というタイトルで報告した。海外からの観光客に向けて、美浜町らしい観光スポットやアクティビティを紹介した。



テーマ「日本全国の小・中学生に向けて」

「スペシャルナイトビーチランド」というタイトルで報告した。小学生と中学生に分けて用意された体験メニューを紹介した。



テーマ「美浜に住もうか迷っている人に向けて」

「美浜町仮り暮らし」というタイトルで報告した。美浜町に移り住むことを検討している家族を対象に、美浜町での生活イメージを紹介した。



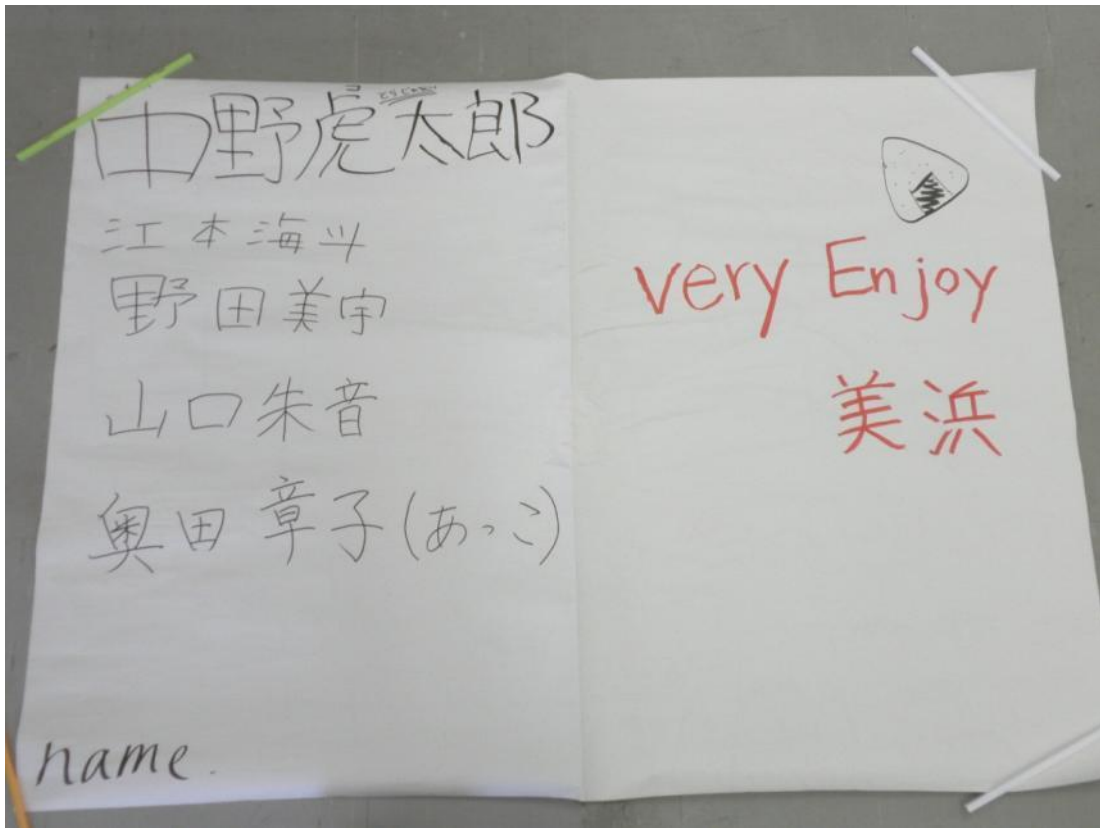
テーマ「美浜を大好きになってもらうために」

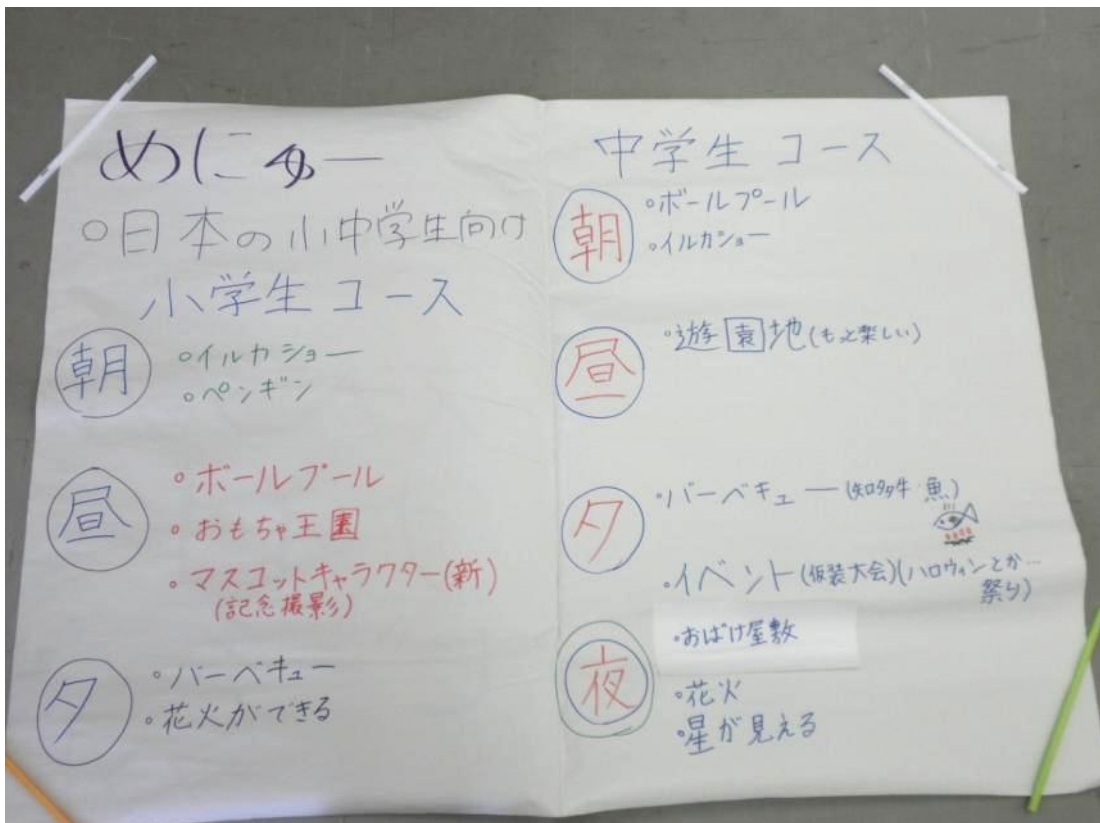
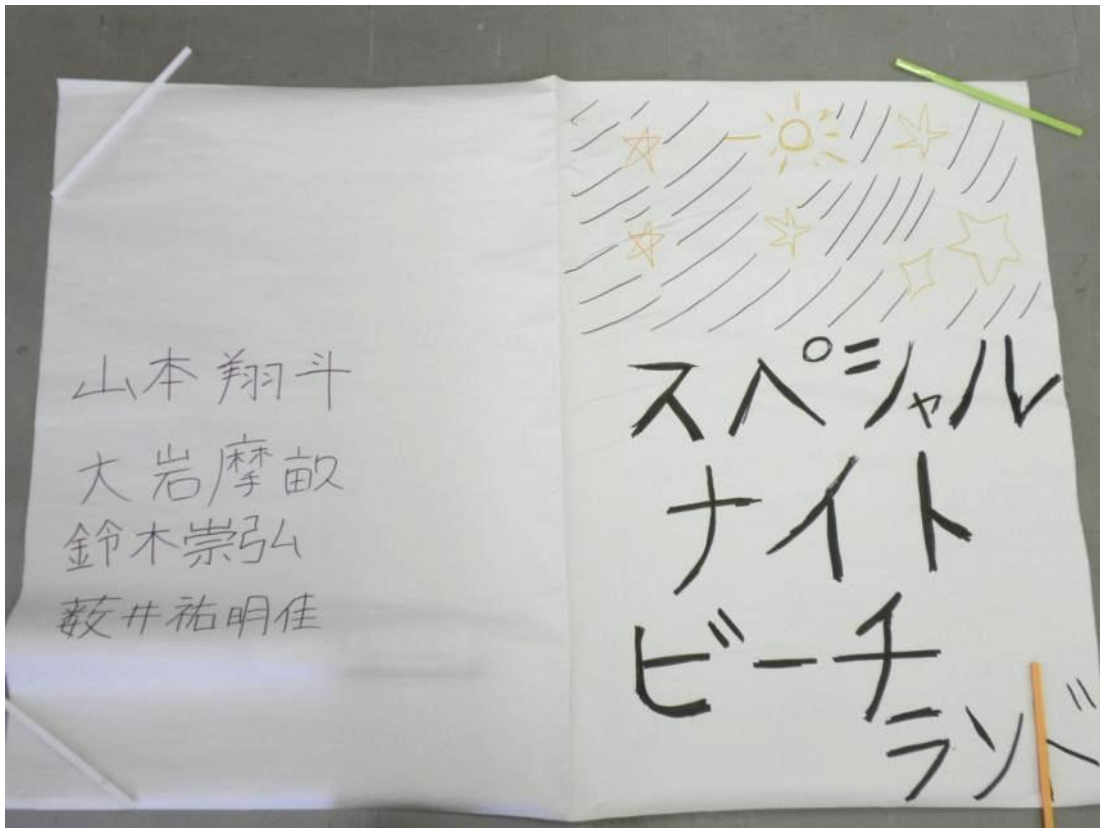
「SUMMER VACATION 美浜観光ツアー」というタイトルで報告した。美浜町で体験できることや観光スポットを案内し、誰もが楽しめるコースを紹介した。

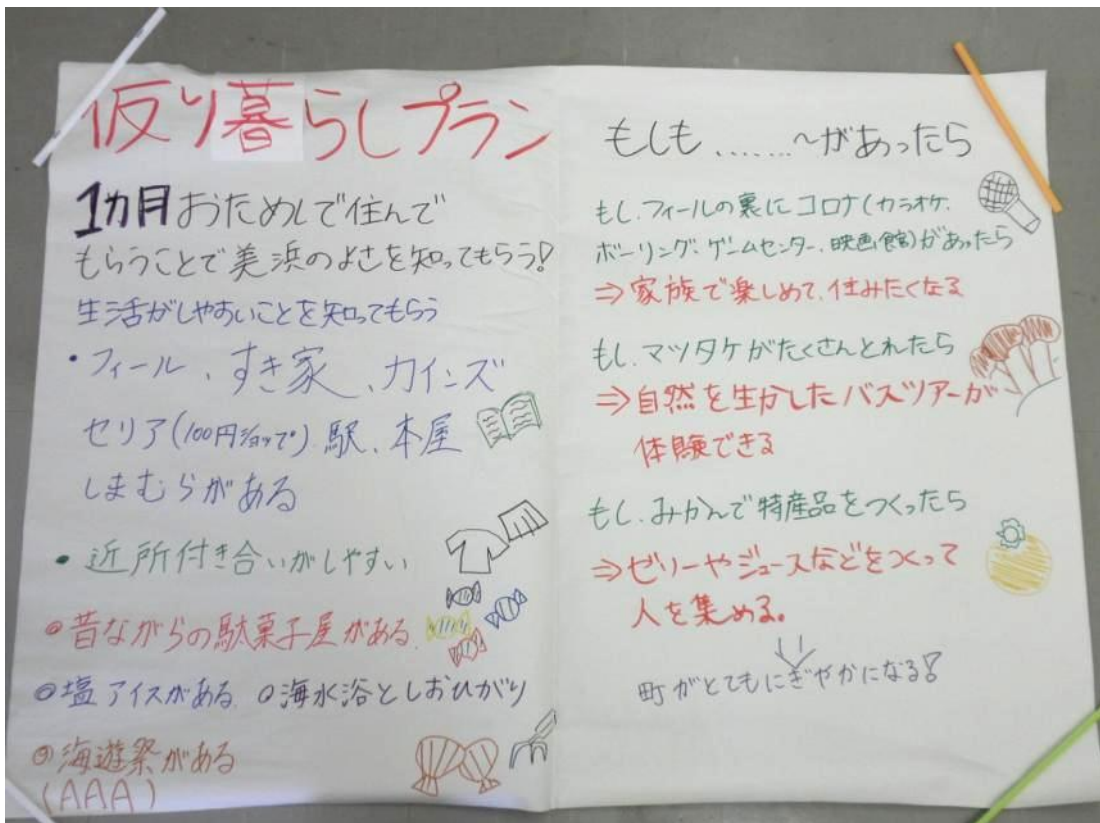
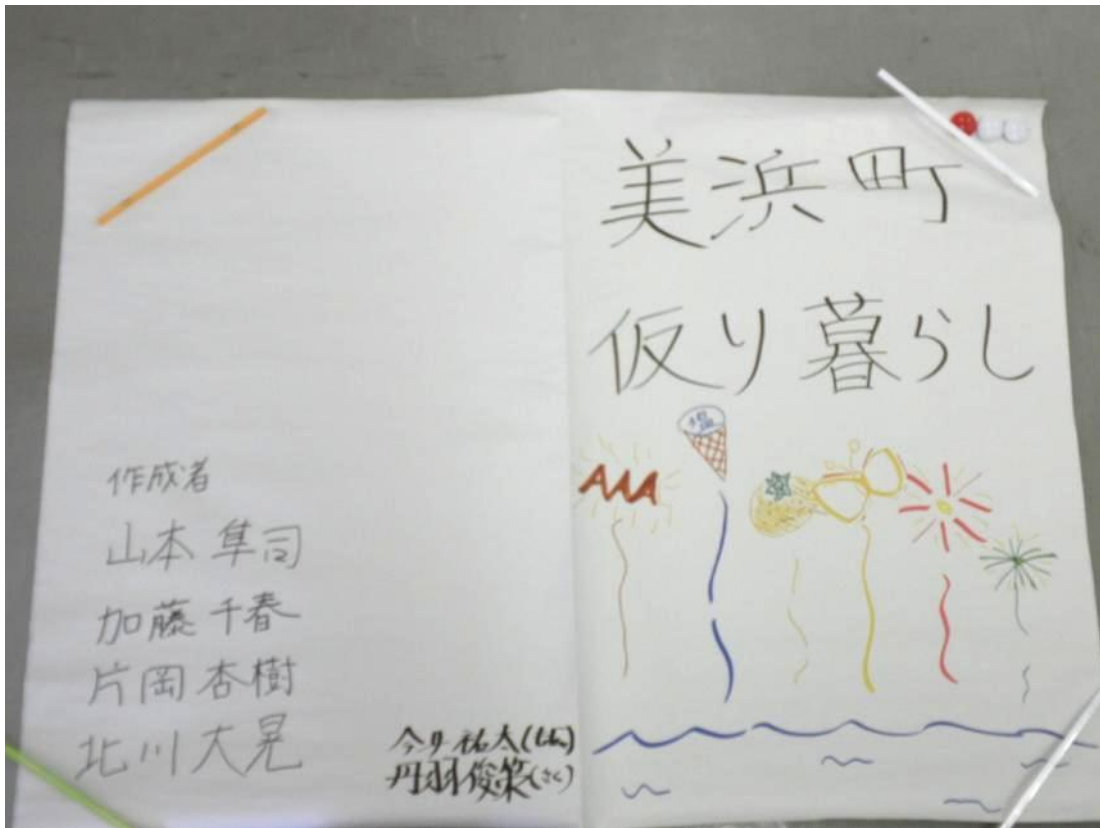


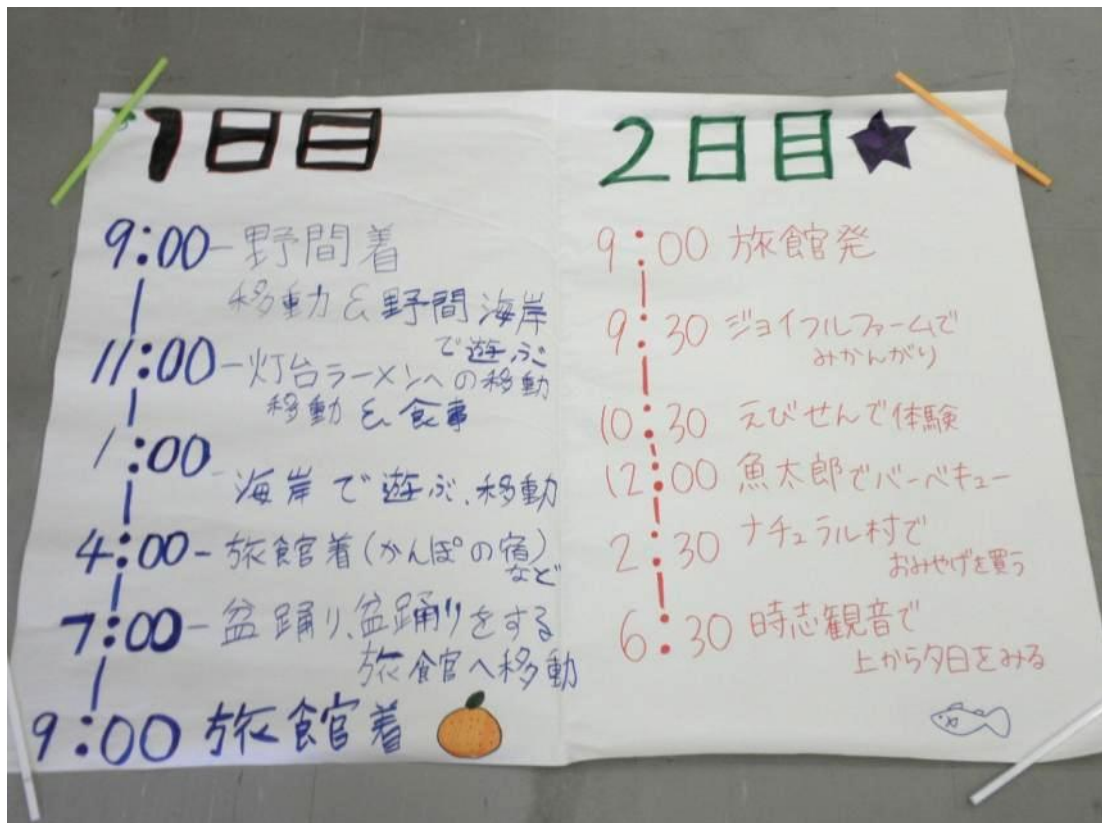
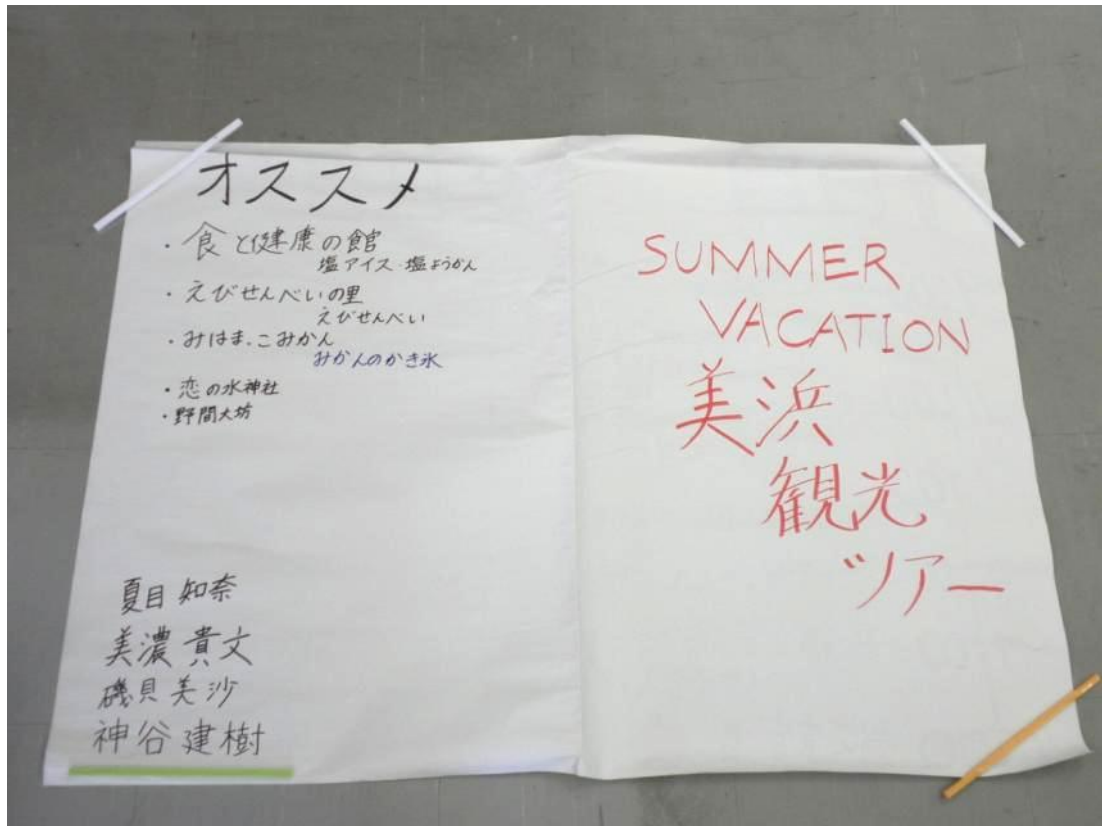
テーマ「日本福祉大学の新生に向けて」

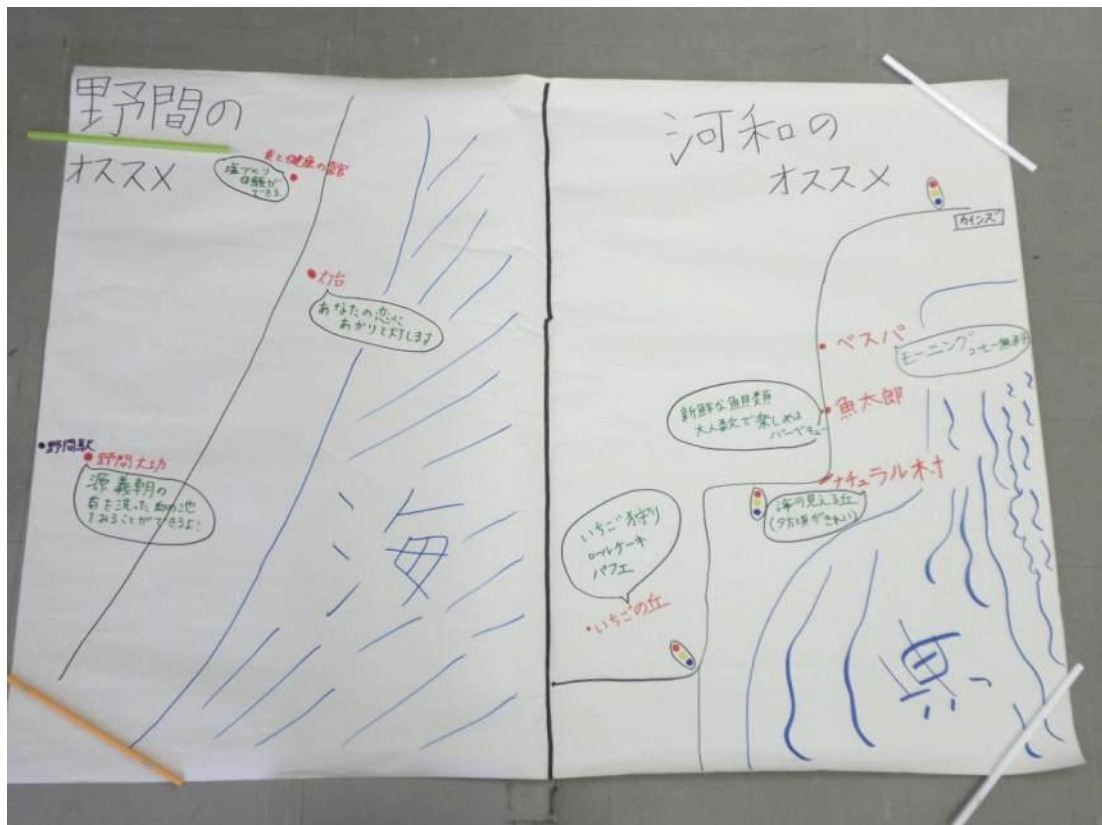
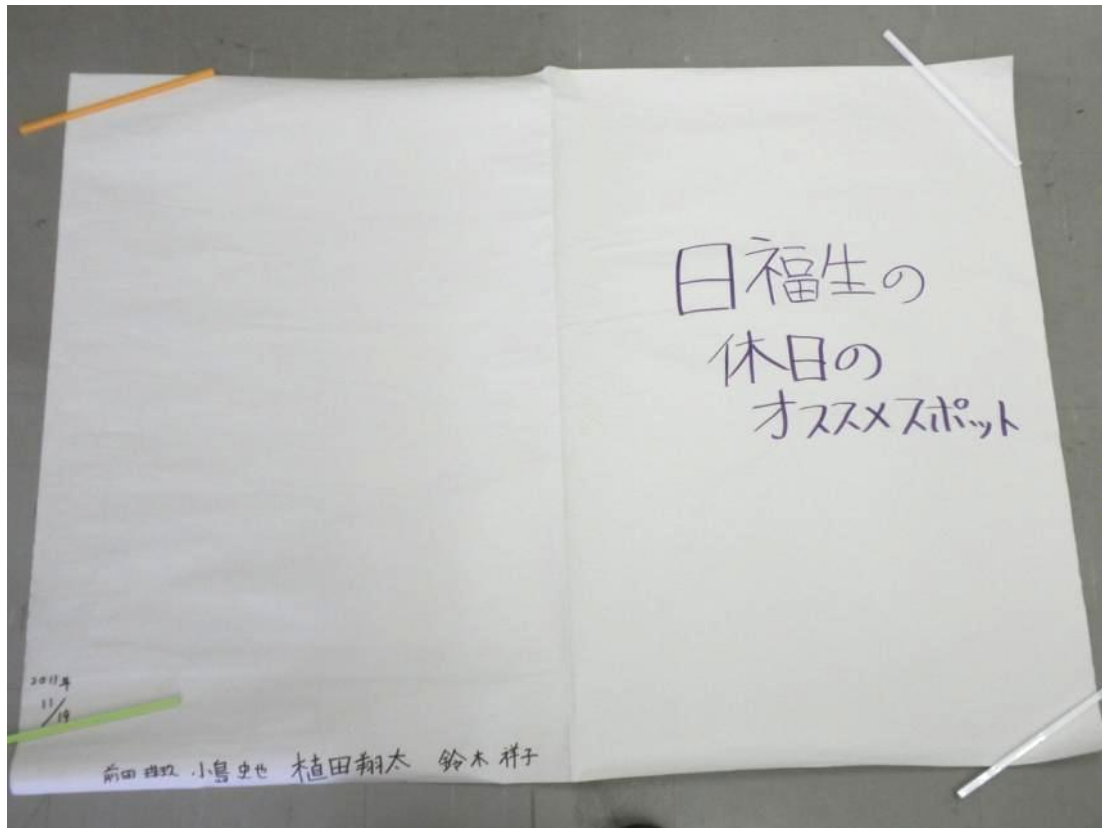
「日福生の休日のオススメスポット」というタイトルで報告した。美浜町に下宿する学生も通学している学生も訪れてほしい素敵なオススメスポットを紹介した。











各グループワークの考察

テーマ「海外の人に向けて」

「Very Enjoy 美浜」というタイトルを付けて、海外の人向けのPR冊子づくりに取り組んだ。内容は、美浜町の食文化、言葉、景色、砂浜での遊びなど、地域特性を十分に活かした受け入れ歓迎プランを練り上げた。中でも、「おすそわけ」という素晴らしい習慣を模造紙上で表現したところが特徴である。

グループ内で議論された内容を、模造紙上の色使いとイラストで表現するなど、感性豊かな冊子にまとめられた。模造紙には、参加者と同年代以外にも多くの住民が登場していることから、身近なコミュニティの健全性がうかがえた。

テーマ「日本全国の小・中学生に向けて」

「スペシャルナイトビーチランド」というタイトルを付けて、日本全国の小中学生を対象としたPR冊子づくりに取り組んだ。内容は、小学生用と中学生用の2つのバージョンが用意され、中学生は夜まで美浜町を満喫することが可能である。

美浜町にあるテーマパークを存分に活用し、サービス精神あふれるプランにまとめられているほか、知多半島の特産物である「鮮魚」や「知多牛」が夕食メニューとして盛り込まれるなど、「地域資源の有効活用」が意識されている。

テーマ「美浜に住もうか迷っている人に向けて」

「美浜町仮り暮らし」というタイトルを付けて、美浜町への移住検討者を対象としたPR冊子づくりに取り組んだ。内容は、もしも1ヵ月間美浜町で生活したらという前提で、すぐにでも移り住みたいと思ってもらえるように美浜町の魅力を惜しみなく披露した。中でも、同年代（小中学生）の家族が移住を考えてくれるように、海水浴や潮干狩り、みかんの特産品など、自然の恵みと生活基盤が整っていることを前面にアピールした。また、美浜町に必要な施設や観光業の活性化に向けたアイデアなど、まちの魅力を高めるための中学生らしい視点が盛り込まれている。

テーマ「美浜を大好きになってもらうために」

「SUMMER VACATION 美浜観光ツアー」というタイトルを付けて、美浜町を訪れる人を対象としPR冊子づくりに取り組んだ。内容は、景勝地や観光地などの地域資源を存分に満喫できるツアープランである。また、盆踊りや美しい夕日観賞なども含まれ、地域経済の活性化も意識した内容である。

観光ツアーというタイトルからも分かるように、観光を通じた地域経済の活性化を意識するなど、現状を的確に把握し、美浜町が抱える課題にも着目している。

テーマ「日本福祉大学の新生に向けて」

「日福生の休日のオススメスポット」というタイトルを付けて、日本福祉大学の学生（美浜町に下宿する学生）、通学している学生を対象としたPR冊子づくりに取り組んだ。内容は、県外、あるいは美浜町外から進学した学生が多いので、大学生一人でも、恋人同士でも、グループでも楽しめる美浜町内の観光スポットを重点的に紹介している。

野間地区と河和地区に分けて、ぜひ訪れてほしい観光スポットや店舗の紹介など、生活の利便性も含めてまとめられている。美浜町で生活する中学生ならではの発想であり、美浜町の特徴が十分に伝わってきた。

ワークショップ全体の考察

まちづくり次世代ワークショップの開催意義と全体のまとめ

まちづくり次世代ワークショップでは、中学生の豊かな感性とともに、的確に地域の現状を認識していることがうかがえた。また、ワークショップに参加した中学生にとっても、中学校区を超えて美浜町の良いところや課題点を見つめ直し、議論する機会となった。次世代（中学生）ワークショップを通じて、中学生が「生活の一定の利便性」、「観光スポットの存在」、「自然環境の豊かさ」に誇りを感じていることが明らかとなった。

また、参加した中学生の感想として、「ワークショップという取り組みをみんなで行うことで、自分たちが生活する美浜町をより深く知ることができた」、「これから町内在住の小中高生とワークショップを行い、将来に向けて話し合い考えていきたい」などが寄せられた。このことは、ワークショップ参加に対する満足度の高さがうかがえる結果であり、同時に、ワークショップ手法により、多様な参加者とともに地域を見つめ直し、互いに議論することの意義が評価されたことがうかがえる。

中学生のような若い世代が、美浜町の暮らしや経済活動に対して興味や関心を持ち、美

浜町に愛着を持つことは、これからも住みよいまちづくりを進めていくうえで重要なことである。ワークショップの開催を契機に、若い世代がまちづくりへの意識を高め、主体的な住民参画の風土形成につながっていくことが期待される。

中学生によるワークショップのふりかえり（感想）

1. 今回のワークショップを行ってみて、僕は始まってすぐ、見ず知らずの人とグループを作ることになったとき、正直、最初は困惑してしまいました。しかし、何とかグループを作ることができました。そして、僕達のグループは「美浜を大好きになってもらう」をテーマにしてPRの冊子作りをしました。最初のうちは、お互い知らない者同士なので意見も出ず、時間が過ぎるだけでしたが、大学生の方が一言しゃべりかけてくれたおかげで、会話が生まれ、意見を出す事ができました。そして、冊子を作るころには、役割分担して、要領良くやれました。発表の時も同じです。少し失敗してしまいましたが・・・。

このような体験をさせて頂き、とても良い機会になりました。美浜の良いところを見つめ直すこともでき、他校との絆を深める事もできました。本当にありがとうございました。来年以降も続けると良いと思います。必ず良い経験になると思います。

2. 僕が参加したグループは、美浜町に住もうか迷っている人に向けてのPR冊子を作りました。自分たちは、美浜町の良さとして自然が豊か、買い物をする場所が多い、昔ながらの店があるなどが出ました。そして、美浜町をもっと良くするために、これからどのようにしていけば良いか話し合いました。そこで、現在空いている広い場所をゲームセンターや、子どもや若者が楽しめる場所にすれば、美浜町が活気づいて、もっと良くなるという意見が出ました。この意見は、中学生ならではのアイデアだと思うし、良いアイデアだと思いました。

このように、今回のワークショップでは美浜町について色々と話し合って改めて、美浜町の良さなどを知ることができたし、良い経験になりました。このことは、これからの生活に活かしていきたいと思います。

3. 僕は、ワークショップはとても大切だと思いました。なぜなら、他の人とのコミュニケーションを取ることができるし、会話により自分にはない新しい考えを共有することができ、アイデアの幅が広がるので、素晴らしいと思います。

美浜町の長所を紙に書き出すことで町の良さを知ってもらいたいと思いました。中学生の意見だけでなく、高校生の意見を取り入れるとより良いワークショップになると思いました。

4. 僕は同じ班の人と「美浜に全国の小・中学生が来たら」というテーマを題材にして話し合いました。話し合いでは野間大坊、魚太郎、ビーチランド、美浜の海などの

話題が出てきました。今まで人とは話したことの無いことを話すことができ、より美浜を知ることになり、良い機会になって良かったです。また班の人と一緒にテーマについて出てきたことをまとめて発表したことで、班の人と協力して色んな答えや他の班の発表で「こんなこともあるんだ」と思い、改めて美浜のことを考え、話し合う良い経験になったので、このワークショップに参加できて良かったです。

5. この様な取り組みは、僕は素晴らしいことだと思いました。これを何度もやり続けることで町がもっと良くなっていくと思います。中学生だけではなく、小学生や高校生にも同じ取り組みをすれば色々なアイデアが出るので、とても良い町作りになると思います。そして他校との交流にもなるので素晴らしいと思いました。
6. 私は今回のワークショップで学んだことがあります。それは「自分の考えていることを声に出すことの難しさ」です。野間中の子とは話したことが無かったので、上手く話せるか不安でした。でも、話し合いをしているうちに、緊張がほぐれて話せるようになりました。意見を出すときに、美浜の良いところって何だろうと思い少し考えました。でも最初は身近すぎて分かりませんでした。自分以外の人の意見を聞いたときに、こういうこともあるなあと美浜の良いところに気付かされました。今回のワークショップで気付いたこと、学んだことをこれから活かしていきたいと思いました。短い時間でしたが、とても楽しかったです。
7. 初めは何をするのか、していいのかも全く分からなかったです。けど、話を進めていくうちにやることも分かってきました。
私のグループでは、「日本全国の小・中学生に向けて」というテーマでPRする冊子を作りました。4人のグループの中、2人は野間中ということで最初はどう話していいのかわからなかったけど、冊子作りを進めていくうちに話せるようになりました。大学生の人と一緒になんとかPR冊子を作ることができました。
これを機会に美浜の良いところを広めたり、探していきたいです。
8. 今までワークショップというのを知らなくて、参加する前は話し合いに付いて行けるか心配でした。でも参加してみると、全く想像と違い楽しく話し合うことができました。あと、普段はあまり自分の町の良い所を考えておらず、改めて考えると色々な場所が浮かびました。それに、知らない場所もあり自分が住んでいる町なのに意外と知らない所もあるんだなと思いました。他にも新しい発見などがあり、とても良い経験となりました。またこのような機会があればぜひ参加したいです。

9. 私はワークショップについて行うとき厳しいものだと思っていましたが、行ってみたらイメージと全然違い、すごくフレンドリーだったし、野間中とは初めての交流だったけれど、すぐに仲良くなれてとても楽しめました。美浜町について何時間も話すことは無かったので、美浜町の良いところが沢山分かり、みんなで話し合いをすることによってまた新たに見つけることもできました。それは私たちにとっても美浜町にとってもすごく良いことができたなと感じさせてくれました。短い時間でしたが、ワークショップに呼んでいただいたことにとても感謝しています。
10. 私は最初、とても不安できちんとできるか心配でした。グループ分けをしたら、野間中の子3人と私の4人でした。仲良くできるか不安だったけど、自己紹介のとき、部活などの話をするうちにだんだん話せるようになりました。そして私たちは「海外の人に向けて」をテーマにしました。具体的に美浜の良いところや新しいアイデアを出していくと、思っていた以上に難しかったです。今回のワークショップで自分の思っていることを分かりやすくまとめて言葉で伝えることの難しさ、そして大切さを学びました。今まであまり深く考えたことの無かった美浜の良いところを考える機会になりました。短い時間だったけど、自分を成長させてくれた時間ですごく楽しかったです。
11. 今回このような体験をさせていただいてとても良かったと思いました。美浜町について良い所を発見したり、こんな物があつたらいいなと考えたりして、とても楽しくやれました。河和中の人たちとも最初は気まずかったけど時間が経つにつれて良くしゃべれるようになったので良かったです。美浜をPRする冊子については、河和中の人とも初対面ということではなかなか話が進まずに、紙に書けなかったのもう少しだけ時間が欲しいなと思いました。でもとても楽しく考えることができました。
12. 初めてワークショップを体験して、河和中の子とも一緒に行って、最初はいくらも話すことができませんでした。グループで野間・河和の良い所を話し合っ、河和のことを知ることができて、自分の住んでいる近くのことしか、全然知っていなかったのだと思いました。もっと沢山、美浜町の良いところを知れたら良かったです。でも野間中と河和中の交流は全然無いので、交流できて良かったです。色々な学年で行うことも、色々な意見を聞くことができて、良いんじゃないかと思います。今回、ワークショップを体験することができて、とても良い経験になりました。この経験をこれから活かせるといいです。

13. ワークショップに参加してみて、とても良い経験ができました。私は美浜町に住んでいるとはいえ、河和のことは、全然分かりませんでした。参加して、河和中の人と話し合っ、河和のことがよく分かりました。野間のことは河和中に話しているうちに忘れていた良い所も思い出せました。美浜町はとても良い所なので、話が収まらなかったです。田舎でも田舎ならではの良いところ、特徴がありました。このワークショップで美浜町の事がもっともっと好きになりました。
14. 私は初めてワークショップに参加してみて、とにかく思ったより楽しかったです。「美浜のいいところ」を考えてみたらけっこう出てきました。近所の人と仲が良い、自然が豊かなどが出てきました。普段はあまり「美浜のいいところ」というのを考えたことが無かったので、自分の住んでいる美浜について考えられたということが、すごく嬉しいです。このワークショップが無かったら、私は一生、美浜について考えなかったで、とても良い体験ができて良かったです。
私はいつか、このワークショップでやったプランが、似た感じでもいので、本当に実現すると良いと思います。私たちの班以外も、良いプランがたくさんあったので、本当にプランになると良いです。わたしにとってすごく良い体験でした。
15. ワークショップでは、これからの美浜町の事を話し合えて、すごく良かったなあと思いました。それに河和中とも話し合えてすごく良い機会になったと思います。これから美浜町はどんどん変わっていきます。良い所はそのまま残して、悪い所は直していく事ができれば、もっと良い美浜町になると思います。
これからの美浜町は、観光スポットも増やし、観光客が沢山来て、活気ある町にしたいと思っています。それに障害者やお年寄りが住みやすい町づくりをしていきたいと思っています。そして、ゴミをポイ捨てせずにゴミ箱に捨てたり、リサイクルするなど、1人ひとりが今できる事をすればもっと良い町になるのではないかなあと思っています。話し合いに参加でき、ホントに良い経験になりました。
16. 初めて顔を合わせた人と意見を話し合い、ポスターのようにして、みんなで協力しながらやるにつれて、初めての人でもどんどん仲良くなってきて、終わったころにはもっと意見を出し合いたいと思うくらい楽しかったです。
好きなように書いたり、好きなように意見を言ったりと、硬い雰囲気ではなく、笑顔が沢山あふれているところがすごく楽しかったです。短い時間だったけれど、ワークショップはすごく楽しかったです。

17. とても良いものだったと思います。このワークショップで行われたことが少しでも活かされれば良いと思います。私はこの美浜町が大好きです。だから、少しでも美浜町に力を尽くせればと思っています。そのために、ボーイスカウトにも入りました。グループで話し合ったことと言えば、美浜町は自然が多いということが出ました。たしかに自然は多いですが、今あっても未来に無くては仕方ないと思っています。この自然を守っていけたら良いと思います。そのための私たちだと思っていますし、そのためには力は惜しみたくないと思っています。

また、こういう場があれば、できるだけ参加したいと思っています。これからも素敵な美浜町であってほしいと思います。

18. ワークショップでは、同じ町内でもあまり話し合ったり、意見交換をする機会のない河和中学校の人と、住んでいてもあまり日常会話に出てこない美浜町について話し合え、とても良い経験ができました。話し合うことで、今までは気付かなかった美浜町の良いところや、「あっ、そうだったんだ。」と知らなかったことに気付くことができ、河和中学校の人とも会話が深まりました。

今後、もしこのような機会があったら、進んで参加したいです。

19. 僕は最初、他の中学校の人と一緒にやるのは、ちゃんとできるか不安でした。でも最初の自己紹介のところで話をしている内に、すぐに仲良くすることができて良かったです。グループの話し合いでは、みんなが活発に意見を出して、ひとつのものにまとめていくことができました。B紙にまとめた意見を書いたときは、みんなで分担して協力しながらやることができました。僕はワークショップでみんなで協力することの大切さや楽しさを学ぶことができました。ワークショップはすごく難しいものだと思っていましたが、すごく楽しくやることができたので、良い経験になりました。

20. 僕は最初ワークショップとは、真面目に話す場だと思っていました。しかし実際はみんなで軽い雰囲気楽しく話せました。他の学校の人と一緒に意見を出し合っていくうちにだんだん仲良くなっていきました。知らない人へ話しかけるのは勇気がすごくいると思います。この「次世代ワークショップ」という機会を頂いて、勇気を出して自分から人に話せることができました。仲良くなると色々な美浜町についての意見が出るようになり、みんなと協力してペーパーを作ることができました。ワークショップという活動はとても良いものだと思いました。

参考資料②

地区別まちづくりワークショップ全体報告会における中学生の発表

美浜町内の 6 地区を対象に開催した地区別まちづくりワークショップの全体報告会において、まちづくり次世代ワークショップの参加者を代表して、中学生 4 名がワークショップで取り組んだテーマや参加した感想などを発表した。目的は、美浜町の現状および将来イメージを世代間で共有するためである。

中学生の発表内容は、「最初、ワークショップに参加することになって何を考えましたか?」、「ワークショップで学んだことを教えてください」、「将来、美浜町をどのようにしたいですか?」、「今日、伝えたいことを自由に話してください」の 4 点である。

日 時 平成 24 年 3 月 3 日 (土) 19:05~19:20
会 場 美浜町総合公園体育館サブアリーナ
発 表 者 河和中学校 美濃貴文さん、北川大晃さん
野間中学校 夏目知奈さん、野田美宇さん



中学生の発表を聞いた地区別まちづくりワークショップ参加者の感想

※紙面の都合上、一部抜粋のみ

1. 美浜町全体の事を知る機会が出来て良かったのではないかな。私の頃は、他の地区のことをほとんど知らなかった。
2. 中学生も自分たちの町について真剣に考え、素晴らしい意見を持っているのが分かった。彼らの意見も取り入れながら新しいまちづくりができるといいなと思いました。
3. 中学生は、立派にやれていたが、もっと我々とのマッチングが欲しいと思いました。

4. 若い子の発想は素晴らしいと思いました。できることなら美浜町内の全小中学校で1年に1回は全生徒に美浜町や住んでいる地区に関して考える時間を与えてやってほしい。
5. 中学生が他校の生徒と一緒にまちづくりについて考える場が持てることが有意義だと思います。
6. 中学生のワークショップと大人のワークショップを一緒にやり、意見を聞きたかった。また、中学生だけではなく日福の高校生、大学生ともワークショップをすれば、違った意見が出たのではないか。
7. 若い中学生の意見は学区をあまり知らないと思っていたがよく、地域を見ていて感心しました。
8. 若い中学生の意見は将来を見ていて、美浜町には無くてはならない子ども達でありました。感心しました。
9. 中学生から見た若い世代の意見は、新鮮で非常に参考になると思いました。引き続き、この活動があると良いと感じました。
10. 改めて美浜町を考える機会になったとのことで、良い機会だと思いました。また、視点が柔らかいので、よいアイデアが出されていたと思います。

以上